

このコーナーでは、地域や学校で行われるイベント行事などを紹介します。皆さんの身近で行われている楽しい催しなどありましたら、企画課広報統計係（☎52-2115）までお知らせください。



地域の皆さんともちつき(12月2日)

毎年恒例となっている地域の皆さんや保護者を招いた、もちつき集会在金山小学校で開催されました。集会では、児童が田植えから収穫・脱穀を行った「はくちょうもち米」を利用して、親子でもちをついたあと、つきあがったもちを、大きな鏡餅や児童が創作した「もちスティック」や「クリームいちご大福」のほか、あんこもちやお雑煮などにして味わいました。児童の皆さんが手塩にかけて育てたもち米の味は格別だったようで、みんな笑顔で食べていました。



### ひと足早いクリスマスライブ (12月2日)

町商工会青年部(川村拓志部長)の主催によるクリスマスライブがみなくるで行われ、家族連れや職場の仲間同士など150名の皆さんが来場し、地元の合唱団「ゆかいな仲間の合唱団」やバンド「リミット」、富良野市の「ベティバンド」が出演しました。会場内では演奏にあわせダンスをする方や海産物の抽選会で盛り上がり、ひと足早いクリスマスパーティーを楽しんでいました。



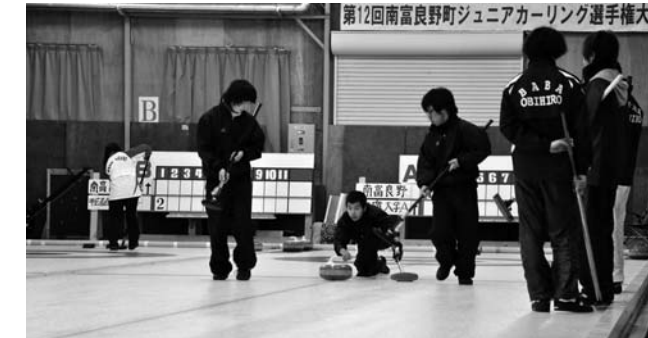
### 氷上で熱い戦いを展開(12月3・4日)

町教育委員会などが主催する第6回町民カーリング大会が、空知川スポーツリンクスで行われ、少年団チームやシニアチームまで幅広い年齢層の8チームが出場し、優勝を目指して白熱した試合が繰り広げられました。各試合好ゲームとなり、接戦を制した「南富レディース」が優勝、準優勝は「南富良野高校ボッキー」、第3位は「MアンドA」となりました。



### 中高連携出前授業を行う(12月5日)

南富良野高等学校(高橋豪校長)では、中学校と高校の中高連携事業として、南富良野中学校で英語の出前授業が行われました。はじめに、高校の葛西教諭とALTのレベッカ・ルーマンさんによる全て英語の英問英答の授業を全校生徒63名で行いました。次に、高校で実施している国際交流派遣事業で、今年7月23日から2週間オーストラリアにホームステイをしながら留学した佐藤奈緒美さん(3年)が生徒を前に留学の様子などを報告し、学校生活や文化や風習など日本との違いをクイズを交えながら説明し、留学を通じて前より英語を話したくなったことなどを伝えました。



### 若きカーラーが熱戦を展開(11月25日→27日)

北海道新聞社杯第12回南富良野町ジュニアカーリング選手権大会が空知川スポーツリンクスで行われました。大会には、地元の中学高校生チームや南富良野高等学校カーリング部をはじめ、帯広市や札幌市、妹背牛町のほか、青森県のジュニアチームなど男女各6チームがエントリーし熱戦が展開されました。

試合結果	優勝	準優勝	第3位
男子の部	帯広畜大A(帯広)	帯広畜大Gin(帯広)	南富良野(南富良野)
女子の部	Winter friend(妹背牛)	カールブレックスJr(帯広)	帯広畜大Mocoturn(帯広)



### 金山地区のむかし(11月30日)

金山ダム水源地域ビジョン推進連絡協議会(平塚麻利子代表)の主催により、かなやま湖塾第7弾として「金山地区・むかしの話～自然・暮らし・遊び～」が行われ、約40名の皆さんが金山の歴史を学びました。むかし話は、記録に残っている写真や地図の映像に基づき、金山在住の土谷弥太郎さんと清水一文さんが語り部を務め、森林鉄道のエピソードや繁華街(すずらん街)などの話題にも触れながら砂金堀から木材産業やダム建設当時の様子などが紹介されました。また、参加者も当時の様子を述べられるなど、会場が一体となり金山の歴史を振り返りました。最後に語り部の土谷さんから、「今は核家族が多く、中々昔の様子を伝える機会が少ないと感じていますので、今日の話は是非皆さんも子供たちに伝えていただきたいと思います」と話されていました。

### 札幌南ふらの会総会(11月24日)

札幌市内のホテルにおいて、会員27名が出席し、平成23年度札幌南ふらの会総会が行われ、前年度の事業報告や収支決算、本年度の事業計画などがそれぞれ承認されました。総会終了後引き続き懇親会が行われ、ホテルのご協力により、南富良野産の食材を使った同会星澤幸子副会長の思考でアレンジされた郷土を偲ぶ料理も登場し、久しぶりの再会に旧交を温めていました。



### 北海道選抜の一員として(11月28日)

このほど、日台親善国際交流U-15(15歳以下)軟式野球大会の北海道選抜チーム(24名の選手で構成)に選ばれた南富良野中学校の坂本大地くん(3年生)が台湾遠征を前に池部町長を表敬訪問しました。この大会は北海道と台湾の中学生が野球を通じて技術の向上と国際親善交流を図ることを目的に毎年行われており今年で5回目になります。池部町長から「頑張ってください」とエールを送られると「頑張ります」と力強く応えていました。

